

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援トモノエ矢口渡教室（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和7年3月7日 ～ 令和7年3月16日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数)	27名
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和7年3月11日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	特別支援学校の中・高校生を主な対象としている為、二ーズに合わせた高校卒業後の進路を見据えた支援	今年度より学校と計画書の共有を行い、進路に向けた情報共有や実習の課題等をより細かく聞き取りを行い、実習を想定した活動や作業を行っている。	報連相やICカードの使い方・携帯電話の使用等、社会に出た時の場面を想定した充実した取り組みを行っていく。
2	個性性を重視した活動の提供	活動や作業の課題などはそれぞれ異なる為、その個人に合わせて課題などを作成・用意し提供している。	個別課題の把握を定期的に行い、活動や作業の幅がより広がり個性性を重視した活動を行っていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	5領域「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会生活」を意識した活動や作業・個別課題	活動がある程度決まっている為、個々に合わせた内容まで細かく分析できていない。	現在行っている活動内容から、個々の計画に合わせて5領域を意識し共有して同じ方向性を持った支援をしていく。
2	災害等を想定した地域との連携	特別支援学校以外の避難所になっている地域の学校等とやりとりがあまりないことから何か行えることを考えていきたい。	日頃から地域の町会や商店街との交流はある為、今後も日頃からの関わりを大切にし関係を深めながら、地域にある学校や福祉施設とも連携できるように連携を検討していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援トモノエ矢口渡教室（放課後等デイサービス）

公表日 令和7年3月29日

利用児童数

34人

回収数

27人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27				・見学時の印象 ・普段から子供にも保護者にも落ち着いた対応で、職員の人数は足りていると感じています。	今後も適切な人員配置で支援してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	1			熱心に子供に特性や伸ばす支援を考えてくださり、親も発見がありとても感謝しています。	いつもご理解とご協力をありがとうございます。今後も児童に寄り添いながら、多角的な支援ができるよう努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	2				
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	11	12		現状で不満なし	今後ご希望に合わせて検討していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	2				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	11	4		知りません。	今後ご希望に合わせて検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	24	3				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	3				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	14	10			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	4				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	3				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	3	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	6			マニュアルは覚えていません。	今後も月に1回の訓練の実施と緊急時の対応を今後周知してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	7				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	3				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	5				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27				・トモノエが大好きです。 ・細々と悩みはあれど活動は楽しみにしております。	安心して過ごすことができるように環境やプログラム等を整え、今後も信頼関係を築きながら支援できるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27				とてもご配慮いただき感謝しております。	いつも事業所運営にご理解ご協力をありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援トモノエ矢口渡教室（放課後等デイサービス）			公表日	令和7年3月29日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動に応じて物の配置を変えるなどし、動きやすいよう工夫している	送迎中などの一時的に手薄になる瞬間がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		毎日のミーティング時に、保護者様からいただいた情報や最近の様子などを職員間で情報交換し、配置を話し合うことで適切に対応できるようにしている。配置基準は満たしていますが、より充実した職員配置ができるように取組んでいる。	クールダウン対応中に便や嘔吐の処理をすることで手薄になることがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		在籍児童やその成長の過程によって掲示物を変更するなどして対応している/室内の段差解消、引き戸採用等、よりご利用者様が安心・安全にご利用できるように配置している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、利用者の退室後に消毒や清掃を行なっている。	倉庫など利用者が入らないところに教材や道具が物理的に多く、整頓が難しい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室で一部屋は必ず振り返りができる環境に整えている。	複数名の個室対応は難しい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日のミーティングと月に2度更に時間を設けたミーティングを開催し、情報共有し解決策の立案を行ない、支援に活かすことのできるように努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表以外にも前期と後期で二回は職員と保護者の話す場を設け、意向を伺っている。評価表ではいただいたご意見を職員間で共有し、改善に向けて取り組んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にヒアリングや始業・終業ミーティング、アンケートを実施している。	非常勤職員を含めた事業所内の全職員での会議の時間の確保をもう少し検討する必要がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	働きやすい福祉の職場宣言での外部評価を受けている。	今後第三者評価の検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		全員が行なう研修を設けたり、スキルアップの為、外部研修への積極的な参加を取り入れるなどしている。	外部研修はあるが、午後の支援と重なるものも多く、参加できるように調整していく。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・利用事にHUGでの活動公開や個別問い合わせ、振り返りや今後についてなど対面や電話面談などでおこなえている。 ・各事業所で話し合い、品質委員で作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		都度職員間で話し合いを行なったり、前期と後期で振り返りを行ない保護者との面談の機会を設け、検討し作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・誰かが舵を取りすぎようなことはなく、幅広く試行錯誤できる空気になっている。 ・複数人で振り返り考えることで多角的に検討することができている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		共有はしているが、日々変わる児童の状況の中で柔軟に対応しているのが現状	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントシートを活用し、随時改定・更新を行なっている。また曜日事の支援書を用意し、日々様子を記録するなど活用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		複数の職員と話し合うことで、一方的な見方になることなく支援を話し合う事ができている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・障がい特性や難易度等に考慮できるよう、ミーティングをして検討している。 ・毎月行なっているケア・支援会議で都度話し合いを行なっている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節の活動を取り入れたり、定期的に活動内容を見直し活動を新しくするなどし、取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・バランスよく活動が行えるようミーティングで事前にすり合わせている ・活動予定表を職員間で話し合い計画し、支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		全職員で毎日支援開始前にミーティングを行ない、ご利用者様の当日の様子や直近の様子、活動内容などを職員間で打ち合わせを行なっている。	平時は始業ミーティングができるが、短縮授業や学校休業日の1日支援の日は始業ミーティングの時間が短くなる。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		話だけではなく日報上にも大切な出来事を記入し、翌日のミーティング時に共有するなどし共通理解ができるよう努め、支援に繋げられるようしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援所に評価欄を設けて成長の具合を可視化している ・HUGを活用し、保護者様に当日の様子が適切に伝わるように、文と写真を用いたり児童活動日誌に記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・児童個々の成長の過程や状況の変化に対応するように話し合いの場が設けてある。 ・計画相談等関係機関と情報共有を行ないながら、定期的なモニタリングを行なっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		保護者様とご本人の思いを尊重しながら支援に取り入れ、他の連携機関と必要に応じて情報交換を行ないながら支援を行なっている。	児童の状況が日々変化しているので、柔軟な対応を行うことが現実的には多い。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		教材の選定や繰り返しの問いかけなどにより自立心が育まれるように関わりあっている/視覚表示カード等を使用して自己決定を促している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当職員と児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。			必要に応じて、関係機関に電話をしたり直接話をするなどで情報共有を行なっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		ご家庭から学校の様子を伺ったり、学校への送迎の際に学校との情報共有を行なっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて、各関係機関との連携を取り入れながら、日々の支援を行なっていく。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		情報共有の依頼があった場合等に速やかに対応し、必要に応じて各関係機関と連携を取っていく。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		外部研修に参加するなどして、受ける機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		直接的な交流はないが、近所の公園・河川敷・商店街等への散歩に行く機会を設けている。	他害や破損などの恐れがあり、実現が難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		就業時間内に開催のものは参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		HUGのサービス実績記録や必要に応じてお電話を通して、情報共有し支援の方向性の確認をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		お困りごとなどがあれば、電話・HUGのメッセージ・送迎時など、その都度ご相談いただいている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にご説明し、不明点のご質問のあった際に丁寧に説明することを心掛けている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントシートや面談時など、保護者のご意向を伺う機会を設け、確認する機会を作るようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		契約時にご説明し、不明点のご質問のあった際に丁寧に説明することを心掛けている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日々の電話等でのやり取りや送迎時など、保護者様からのご相談に可能な限り迅速にご対応できるように努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者様のご意見を頂戴しながら、今後必要に応じて企画、開催を検討していく。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった際には、内容の記録と原因や対策を検討し、迅速に保護者様への回答を行い、状況によっては行政機関への報告も行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・前月に行事予定を公開したり、公式LINEを作成したりSNSの活用をしている。 ・HUGで次月の活動予定を公開している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		知り得た情報や書類等は外部に持ち出さないよう徹底し、個人情報に関わるものの取り扱いには細心の注意を払って管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		日々の支援の様子をサービス提供記録で公開している、また何かいつもと違う様子が見られた際には送迎時などでお話し情報共有に努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	商店街でのお買い物等外出活動で関わりを持てるよう努めている。	現状ではプライバシー配慮などの関係で、保護者しか招待ができていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		実演で汚物処理を行なうなどし、疑問点などがあつた際にはその際により職員間で話し合うことができています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		実際に避難所となるところまで歩いたり、緊急地震速報のアラームを鳴らして行動の練習をしたりと実際の災害時を想定した予行練習を行なっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントシートを用いて、状況の把握をしている。また、家へのお迎え時にはなってしまうが、利用時に保護者様にお会いした際に変わったことがないか確認をしている。いつもと異なる様子が見られた時には共有するように努めている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アセスメントシートを用いて、状況や対応法の把握をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		毎月、月末に防災訓練を実施している。実施後は振り返りを行ない、改善に努めている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・マニュアルの策定、委員会の配置、職員への周知を行っている。 ・ご家族にもヘルプカードの作成依頼や緊急連絡先の共有などで連携をしている。	今後より深めていく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		複数人で意見を出し合いながら、ヒヤリハットを作成するようにしている。作成されたヒヤリハットは全員が閲覧し、共通した対策ができるよう努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を定期的に開催し、日々の支援の中で悩むことがあつた際には話し合える場を設けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に身体拘束について保護者に説明し、同意書をいただくようにしている。	